

第36回全日本トライアスロン皆生大会は、『スポーツ振興くじの助成金』の支援を受けて開催しました。以下、第36回大会の報告並びに同助成金の決算報告をいたします。

皆生トライアスロン協会
実行委員長 柴野 清

第36回全日本トライアスロン皆生大会 報告書

1. 開催日 平成28年7月17日(日)
2. 気 象 午前7時00分現在(スイムスタート)
 - (1) 天候 晴れ (2) 気温 27.0℃
 - (3) 湿度 65% (4) 風速 西 7m
 - (5) 最高気温 31.4℃(13:50分現在)
 - (6) 波高 0.5m
3. 競技内容 水泳 3.0km(7:00~9:00)
自転車 140km(~15:30)
マラソン 42.195km(~21:30)
4. 申込総数 個人1,810名(男子1,673名 女子137名) リレー83チーム
5. 参加者 (1) 当日競技人数 個人922名(うち女性106名) リレー61組
(2) 完走者数 個人829名(うち女性 86名) リレー60組
[リタイア人数] 水 泳 個人 2名(うち女性 1名) リレー 0組
自 転 車 個人 27名(うち女性 7名) リレー 1組
マラソン 個人 64名(うち女性 12名) リレー 0組
6. 競技記録 【個人総合の部】
 - 第1位 佐相 宏明(21) 東京都 タイム8時間39分09秒
 - 第2位 嶋 雄介(32) 山口県 タイム8時間51分28秒
 - 第3位 谷 新吾(49) 愛知県 タイム8時間51分46秒【女子の部】
 - 第1位 堀 陽子(48) NZL タイム9時間45分51秒【クラブ対抗の部】
 - 第1位 アイレクストラトライアスロンスクール 愛知県 合計タイム 28:26:06
 - 第2位 武田医院トライアスロンチーム 鳥取県 合計タイム 28:44:17
 - 第3位 慶応義塾大学トライアスロン部 東京都 合計タイム 29:13:34
7. 運営体制 スタッフ・ボランティア総勢 約4,400名(前年比±0)
交通安全指導員 51名(前年比±0)
ガードマン 288名(前年比+4)

8. 事故等 自転車競技で一般ボランティアと接触する事故が1件あったが怪我はなかった。自転車の落車事故（単独）が6件あり、そのうち2件は骨折する事故だった。また、マラソン競技中に転倒し、フィニッシュした選手が後日、骨折が判明した事案が1件あった。その他、事故等の発生はなかった。なお、熱中症とみられる症状で2名が一晩入院した。

9. その他 事前の予報で天候が心配されたが、水泳スタート時には真夏の太陽が照りつける好天に恵まれた。今大会は前年の水泳競技で発生した死亡事故を教訓に、警察、消防、海上保安部など関係機関と救難救護体制の確立、並びに安全対策の抜本的見直し等、万全の態勢で臨んだ。大会を支えるスタッフ、ボランティアだけでなく、出場選手にも啓蒙を図り、安全に対する意識の共有を図った結果、全体として大きな事故やトラブルはなく、成功裏に終わることが出来た。

平成28年度委託事業に関する決算書

【支出の部】

(単位:円)

内 訳	本年度決算額	本年度予算額	増 減
選手記録集計システム委託	4,156,218	4,156,218	0
大会本部設営一式	890,362	957,366	-67,004
ポスター作製費	963,900	963,900	0
プログラム作製費	984,312	984,312	0
コース図、選手名簿作製費	899,208	899,208	0
レンタカー一式	0	918,000	-918,000
医師、看護師謝金	0	434,000	-434,000
合 計	7,894,000	9,313,004	-1,419,004